



都立蔵野公園

樹木観察マップ°



116種、269本の木を観察しながら歩くことができます。
マップ上の木にはすべて解説付きの樹名板がついています。





マンサク (満作)

3月ごろ、葉より先に花が咲きます。花びらは細長く黄色、その後ろに赤いが見えます。「まんず咲く」が名の由来ともいわれます。



サンシュユ (山茱萸)

3月ごろ、葉より先に花が咲きます。枝一面に黄色い花をつけるので「春黄金花」の別名があります。



コブシ (辛夷)

3月ごろに良い香りの白い花が咲きます。昔は花が咲くと田植えの準備をしたため、「田打ち桜」という別名もあります。



ヤマザクラ (山桜)

3月末～4月はじめの、葉と同時に花が咲きます。どの木も同じのソメイヨシノとは違い、木によって個性が楽しめます。



ハナミズキ (花水木)

花びらのように見えるのはガク。白や赤色になり、真ん中に小さな花が集まっています。秋には実が赤く色づきます。



ユリノキ (百合の木)

5月～6月にチューリップに似た花が咲きます。葉の形から「ハンテンボク」の別名もあります。北アメリカから来た木です。



エゴノキ (齊墩果)

5～6月に白い星形の花が、下向きに咲きます。実の皮に毒があり、えぐみがあることからこの名がついたと言われています。



ヤマボウシ (山法子)

ハナミズキに似た花が咲きます。実はゴムボールのような形で、秋のはじめに赤く色づき、食べることもできます。



トウカエデ (唐楓)

中国から来たカエデの仲間です。あひるの足のようには先が三つになった葉は、秋には赤～黄に美しく色づきます。



ソシンロウバイ (素心蜡梅)

12～2月、良い香りの黄色い花が咲きます。つやのある花びらが蠟細工のようなので、この名がつけました。